

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
1	<p>1. 病院・診療所・薬局連携システムの構築などについて</p> <p>(1) 病院や診療所、薬局が連携し、患者の医療情報を共有することで、重複医療や重複投薬の抑制などが図られ、医療の効率化や低コスト化につながると考えるが、当市でもシステム構築に取り組む考えはないか。</p> <p>2. ゆるい移住の推進について</p> <p>(1) 福井県鯖江市では、定住や就職を前提とせずに、一定期間、家賃無料の住居に住み、まちを体験する「ゆるい移住」プロジェクトに取り組んでいるが、当市でも取り組む考えはないか。</p> <p>3. 高田地区中心市街地に人を呼び込む施策について</p> <p>(1) 北陸新幹線開業後の中心市街地の入込状況をどう分析しているか。また、中心市街地に目玉となるような更なる魅力ある場所や仕掛け等が必要と思うが、市はどのように考えているか。</p> <p>(2) 賑わい創出には若者の関心を高めることが重要である。そこで、中心市街地の空き店舗を利用して、高校生などの若者が気軽に集える場所を創出できないか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
2	<p>1. 上越市の人口減少対策について</p> <p>(1) 農山漁村部と中心市街地では、共に産業構造の変化や土地・住宅の所有・利用条件などを背景として人口減少や少子高齢化が著しく進んでいる。これらの地域において、住み続け、また、移住促進を図ることにより人口減少を食い止めるためにどのような政策を考えているか。</p> <p>(2) 当市では、上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例（以下「空き家対策条例」という。）第 16 条に基づく空き家等に関するデータベースをいつ頃整備するのか。また、空き家対策条例第 18 条で空き家等の活用を規定しているが、空き家を移住者の住居として活用するため、市がもっと積極的に空き家の調査や情報収集を行う必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 空き家対策条例第 17 条に関し、空き家等の所有者等に対しては、どのように情報提供や助言、援助を行う考えか。</p> <p>(4) 定住促進を訴える広報紙の発行など、広報活動を強力に推し進める考えはないか。</p> <p>(5) 高等教育への奨学金について、就職時に当市に定住することを条件として、返済を免除する制度を新設できないか。</p> <p>(6) 日本全体では、ベンチャー企業への投融資が遅れている実態にあるが、当市にそれら企業を積極的に誘致する考えはないか。</p>	
7 番		
中川幹太		

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>3</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"><b>29 番 永 島 義 雄</b></p>	<p><b>1. 当市の将来展望について</b></p> <p>(1) 現在策定中の第五次観光振興計画では、重点集客エリアに城下町高田エリアを位置付け、歴史的特性と訴求性の高い観桜会を軸に誘客促進とエリアの魅力向上を図るとしている。そこで具体的な取組の一つとして、高田城の復元をすべきであり、当初として枳形門の復元から手をつける考えはないか。</p> <p>(2) 市長という立場だけでなく、上越地域の中核都市のリーダーとして、国際化の進展など将来的なことを見据え、日本海側に無い国際空港を誘致する考えはないか。</p> <p>(3) 当市の人口増加策の一つとして、公立・私立の大学誘致を積極的に推進する考えはないか。</p> <p>(4) 当市の基幹産業である農業を魅力ある成長産業にするためには、市としてどのような支援が必要と考えているか。</p> <p><b>2. 道徳教育のあり方について</b></p> <p>(1) 全国的に人命軽視の事件やいじめ、虐待が多発している。学校における道徳教育の内容や時間、特に人命重視の指導のあり方について、教育委員会としてどのように考えているか。</p> <p><b>3. 固定資産税などの分割納付について</b></p> <p>(1) 年金だけで生活しているお年寄りなどは、固定資産税や市・県民税の年 4 期での納付がかなりの負担になっている。市として、納付回数を増やすなど、制度的にどこまでの対応が可能なのか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>4</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"><b>26 番 近 藤 彰 治</b></p>	<p><b>1. 危険な踏切道などの改良を促進する法改正について</b></p> <p>(1) 当市における危険な踏切の現状をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 南高田駅北側の踏切は、通勤・通学者が多数往来しているが、道幅が狭く、多くの車両も往来するため、時間帯によっては大変危険な状態であり、以前から踏切拡幅などの改善を要望している。踏切道改良促進法等の一部を改正する法律案によって、改善の見通しに変化はあるか。</p> <p><b>2. 交通安全対策について</b></p> <p>(1) 近年、運転中のドライバーの危険行為が目立っている。携帯端末を操作しながらの運転やペットを抱えながらの運転など、事故に直結するような行為で大変危険である。警察では取り締まりを行っているが、当市としても防止策を検討すべきではないか。</p> <p>(2) 自転車の加害事故に対する高額賠償事案が増えている。ヘルメットの着用や自転車損害賠償保険の加入義務を条例化する自治体が増えている。当市も条例化を検討する考えはないか。</p> <p>(3) 今年の 2 月に登下校中の児童を見守るボランティアが重傷を負った交通事故が発生した。事故の原因と市としての改善策を聞きたい。</p> <p><b>3. 公共施設への防犯カメラの設置について</b></p> <p>(1) 市民が安全・安心に公共施設を利用する上で、防犯カメラの設置は有効と考えるが、集客数の多い文化会館や市民プラザ、リージョンプラザ上越における設置現状を聞きたい。</p> <p>(2) 新たに建設を予定している(仮称)厚生産業会館、新水族博物館、県立武道館(仮称)における防犯カメラの設置見通しを聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>5</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">19 番 江 口 修 一</p>	<p><b>1. 社会資本総合整備計画について</b></p> <p>(1) 直江津地区の社会資本総合整備計画では、旧直江津銀行を「まちの歴史が感じられる散策拠点施設」として整備するとしているが、今後の見通しを聞きたい。</p> <p><b>2. 津波対策について</b></p> <p>(1) 市内沿岸部の中で古城地区は津波被害の危険性が高く、津波避難施設の整備は喫緊の課題と考えるが、平成 26 年度に実施した津波避難施設基本調査の結果の取扱いと、今後の津波対策の見通しを聞きたい。</p> <p><b>3. 誘客策の推進について</b></p> <p>(1) 直江津港への外国クルーズ船の誘致について、ハード・ソフト面の取組などの解決すべき課題が多いことは承知しているが、博多港には 50 万人を超える外国人観光客がクルーズ船で来ており、その経済効果は計り知れない。当港への誘致実現の可能性はないのか。</p> <p>(2) 温浴施設の「くわどり湯ったり村」の経営改善につなげるためにも、市はもっと市外から人を呼び込む仕掛けづくりが必要と考える。そこで、地域と連携したハイキングやトレイルランニングなどのイベントをこの周辺で開催し、参加者に施設利用を積極的に促してはどうか。</p> <p><b>4. タクシーを活用したドアツードア型の相乗りデマンド交通の新設について</b></p> <p>(1) お年寄りや障がいのある方などの移動困難者に対して、外出しやすい環境を整備するため、タクシーを活用したドアツードア型の相乗りデマンド交通を設けてはどうか。</p> <p><b>5. 直江津地区の市街地活性化について</b></p> <p>(1) 平成 28 年度予算に直江津学びの交流館に近接する土地の購入費を計上している。今後、直江津地区の活性化に資する土地利用の事業提案を公募するとしているが、現在想定している公募条件などを聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>6</b></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 番 石 田 裕 一</p>	<p><b>1. 公の施設使用料の減免制度の見直しについて</b></p> <p>(1) 市は、減免制度の見直しに当たり、市内の施設を貸館施設と体育施設に区分した。さらに貸館施設については、拠点施設・一般施設・地域の集会施設に細分化し、体育施設は、拠点施設・専門施設・一般施設・学校開放体育施設に細分化している。また、利用者及び利用目的も整理し、減免制度を見直すとしているが、今回の見直しが青少年のスポーツ振興に及ぼす影響について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 体育施設について、拠点施設・専門施設・一般施設をどのような基準で分けたのか。詳細に聞きたい。</p> <p>イ 同じ青少年スポーツクラブであっても、利用する施設によって減免率が異なる状況について、市の見解を聞きたい。</p> <p>ウ 当市の青少年のスポーツ振興を図る上では、各種目に平等な支援が必要である。今回の見直しでは、結果的に特定の種目が優遇されていないか。</p> <p>エ 今回の見直しでは、市内の施設を細かく区分し、それぞれに異なる減免率を適用するという手法をとった。受益者負担の考えに基づくのであれば、どの施設を利用しても同じ減免率を適用するなどの手法は考えなかったのか。</p> <p><b>2. 公の施設の廃止後の利活用について</b></p> <p>(1) 公の施設の再配置計画に基づく施設の休廃止が進められ、また、小学校の統廃合により空き校舎が増加している。それらの多くは、人口減少が進んだ地域に存在する。しかし、これら地域の拠点施設が無くなることで、地域コミュニティの更なる低下が懸念される。地域コミュニティを維持し、地域住民の福祉増進に資するためにも、廃止後の公の施設や空き校舎を、解体ではなく、できる限り利活用していく必要があると考えるが、基本的な考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
7	<p>1. 子どもに関する施策の広域連携について</p> <p>(1) 子育てジョイカード事業やこどもの日パスポートなどの施策について、市民の行動範囲も広域化していることから、上越市がリーダーシップを取り、妙高市及び糸魚川市に働き掛け、行政区を越えた広域的な事業を行うことはできないか。</p> <p>2. 上越地域医療センター病院の今後のあり方について</p> <p>(1) 病院は、上越地域における回復期・慢性期医療の中核を担う施設であるが、上越地域の広域性を踏まえ、今後の病院の役割をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 病院の今後のあり方について、平成 28 年度において引き続き検討するとしているが、いつ頃を目途に結論を出す予定か聞きたい。</p> <p>(3) 施設の老朽化が著しいが、市では、あと何年程度、現施設を安全に、かつ快適に利用できると考えているか。</p>
1 番 田 中 聡	
順位	質 問 事 項
議席氏名	
8	<p>1. 春日山城跡を活かした更なる観光振興策について</p> <p>(1) 春日山城跡関連施設は、通年観光ができる上越有数の歴史的観光資源だが、これを一大観光拠点にするため、戦国の山城「春日山城一部復元」を官民共同で検討する考えはないか。</p> <p>2. 原発再稼働問題と隣接自治体の同意権について</p> <p>(1) 市長はこれまで原発再稼働問題に対する同意自治体の範囲について、「国が専門的な知見に基づく確かな方針を示すべき」との認識を示しているが、重大事故を想定した避難計画の策定を義務付けられる周辺自治体として、再稼働是非の同意権を主張すべきと考えるが、改めて見解を聞きたい。</p> <p>3. 地域協議会と行政との見解が相違した場合の対応について</p> <p>(1) 地域協議会が住民意思を代表した意見書の提出や市長の諮問に反する答申がなされた際、市と地域協議会の見解が相違する場合がある。相互理解を深めるための対応をどのように考えているか。</p> <p>4. 医療体制と市民病院の今後について</p> <p>(1) 現在の市内における病院病床数や医師・看護師等医療機関従事者数について、市民の医療ニーズや健康を守るうえで、医療規模や体制の適正状況はどうか。また、将来の市民病院の位置付けと改築問題について、どう考えていくのか。</p> <p>5. 障害福祉サービス提供体制の後退と今後の見通しについて</p> <p>(1) 平成 28 年 2 月末日をもって、1 事業所における「行動援護事業」「移動支援事業」などの障害福祉サービスの提供が休止されたが、その受け皿や新規参入事業所が現れない中、利用者へのサービス後退が懸念される。市はどう体制を整備していく考えか。</p> <p>6. 学校給食「民間委託」の今後について</p> <p>(1) 学校給食の民間委託について、平成 28 年度から新規参入業者であっても請負方式を採用しているが、安全安心な給食調理を担保できるとした根拠は何か。</p> <p>(2) 民間委託の目標の一つである経費削減効果について、これまでの検証をどう行ってきたか。</p> <p>(3) 今後の民間委託の拡大によって、市の調理員の将来的処遇をどう考えているのか。</p> <p>7. 2 期目の市長任期前半の評価と後半の課題について</p> <p>(1) 市民への公約達成状況を含め、任期前半の市政運営全般にわたる総括と評価をどのように行ったか。</p> <p>(2) 財源縮小や人口減少問題対策など、後半の行政課題を含め、当市における今後 10 年間の重点政策課題をどう捉えているか。</p>
25 番 柳 沢 周 治	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>9</b></p> <p style="text-align: center;"><b>3 番 櫻 庭 節 子</b></p>	<p><b>1. 空き家の活用等について</b></p> <p>(1) 空き家の活用に向けた空き家バンクの創設に向けた取組は、行政が主体で行うのか、それとも民間に任せる考えか。</p> <p>(2) 地域での空き家を活用した移住促進の取組が増えているようだが、市はどの程度把握しているか。また、今後それらの地域をどのように支援していく考えか。</p> <p><b>2. 中学校における性教育について</b></p> <p>(1) 中学校での性教育、特に妊娠・出産に関する教育は、どのように行われているか。</p> <p>(2) 不妊治療の現場では、妊娠・出産に関する正しい知識、特に母体の妊娠適正年齢等に関しての知識を早期に教える必要性を求めているが、学校現場で教えることについて、どのように考えるか。</p> <p>(3) 当市の事業で、助産師会が中学校・高校で出張講座を開き、妊娠・出産に関する教育の場を設けているが、教育委員会としてどのように評価しているか。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>10</b></p> <p style="text-align: center;"><b>4 番 小 林 和 孝</b></p>	<p><b>1. 消防署の適正配置について</b></p> <p>(1) 上越地域消防事務組合による「組合消防のあり方に関する内部検討結果報告書」の中では、上越北消防署の移転整備について、消防本部を併設し、三田交差点付近に移転する案が有力視されているが、消防需要が見込まれる春日地区の選定は考えられないか、市の認識を聞きたい。</p> <p><b>2. 子ども会への支援について</b></p> <p>(1) 平成 28 年度予算では、子ども会等が行う地域のリーダー育成に向けた活動に対し、補助金を交付するとしているが、リーダーとなる子どもと子ども会にどのような役割を期待しているか。また、補助金以外にも何かサポートするなどの考えはないか。</p>

順位	質問事項
議席氏名	
11	<p><b>1. 財政調整基金の積み立てや税金の使途について</b></p> <p>(1) 平成 28 年度当初予算では、財政調整基金の年度末残高を約 131 億円と見込み、一般会計予算の 1 割を超えている。このことに対する見解を改めて聞きたい。</p> <p>(2) 住民負担の増、サービス低下の一方で、箱物建設への多額の投資、市民に我慢を強要しながらの多額の財政調整基金積み立ては納得できない。財政調整基金の一部を活用する、または税金の使途を改めるなどして、福祉と市民の暮らし第一の市政へ転換すべきではないか。</p> <p><b>2. 介護福祉施策について</b></p> <p>(1) 介護保険制度の改正と介護報酬の引下げは、市内の介護事業者に大きな影響を及ぼしている。市長はこの状況をどう認識しているか。</p> <p>(2) 介護職員がやりがいを持って仕事ができる環境整備と行政の関与について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 介護職員処遇改善加算について、介護職員の恒久的な労働条件改善につながっているか、市として把握しているか。</p> <p>イ 介護職員の人材確保について、今後どのように対策を拡充する考えか。特に介護職員の労働環境や処遇改善の具体的方策を聞きたい。</p> <p>ウ 指定管理の福祉施設職員が、自らの子育てや家庭内の介護などを行いながら、仕事に就けるよう、行政指導や支援を行い、労働環境や処遇改善を図ることが必要と考えるが、市の考えを聞きたい。</p>
22番 上野公悦	
順位	質問事項
議席氏名	
12	<p><b>1. 少子化対策について</b></p> <p>(1) 当市における少子化には様々な要因があるが、その現状と対策はどうか。</p> <p>(2) 有識者によると、少子化対策で有効とされるのは、育児費用や教育費の負担軽減を図る経済的支援の充実、保育所や放課後児童クラブの増設などによる子育て支援サービスの充実、仕事と育児の両立を図る「ワークライフバランス」の推進、若者の就労支援などを総合的に進めることであるとされている。また、全国には、子育て支援サービスなどを抜本的に改善することで少子化に歯止めをかけている先進事例がある。当市においても、これらを参考に、思い切った少子化対策等の取組を進めてはどうか。</p> <p><b>2. 新幹線と並行在来線の現状と課題について</b></p> <p>(1) 北陸新幹線とえちごトキめき鉄道が営業を開始してから約 1 年経過したが、それぞれの利便性と安全性に関し、市はどのように捉え、どのように評価しているか。</p> <p>(2) この間、市民団体が行った利用者アンケートをはじめとして、市民からは利便性に関するさまざまな意見が出されているが、次のような点について、市はどのように対処する考えか。</p> <p>ア 上越妙高駅の 2 階自由通路へのトイレの設置</p> <p>イ えちごトキめき鉄道の上越妙高駅ホームの段差解消</p> <p>ウ えちごトキめき鉄道の各駅における J R 切符の販売開始時刻繰り上げ</p> <p>エ 通学時間帯の混雑解消</p> <p>オ 車両内の手すりやつり革の増設などの安全対策の拡充</p> <p>カ 高田駅の観光案内所の常時開設</p> <p>キ 高田駅の西口設置</p> <p>(3) えちごトキめき鉄道と北越急行の安定経営は、市民の足の確保に欠くことができないが、JR からえちごトキめき鉄道への資産譲渡の内容や国・県からの支援の状況などの詳細は不明である。明らかにされたい。</p> <p><b>3. 介護保険制度について</b></p> <p>(1) 全国に先駆けて実施した新総合事業の現状はどうか。また、どのように評価しているのか。</p> <p>(2) 基準を緩和したサービスは、事業者と利用者の双方にとって大きな負担になっていると思うがどう認識しているか。</p> <p><b>4. 住宅リフォーム促進事業について</b></p> <p>(1) 事業開始から 5 年半が経過し、市内経済の活性化に大きく貢献していると思われるが、市としては効果をどう検証しているか。</p> <p>(2) この事業を使いやすくするための一層の改善については、どのように考えているか。</p>
8番 平良木哲也	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>13</b></p> <p style="text-align: center;"><b>5 番 滝 沢 一 成</b></p>	<p><b>1. 当市と雪について</b></p> <p>(1) 当市は、都市部にして豪雪地でもある世界でも珍しい都市である。ここに暮らす住民にとって、雪の克服は生存権に関わる問題であり、また、都市として生き残るためにも避けて通れない大きな課題である。今後、どのように雪と向き合い、どのようなまちづくりをしていくのか、市長の根本思想を聞きたい。</p> <p>(2) 克雪や利雪をはじめ、雪と共生する当市のまちづくりの「戦略」をどのように考えているか。</p> <p>(3) 戦略を実現するための「戦術」について聞きたい。</p> <p><b>2. 高田市街地の将来像について</b></p> <p>(1) 日常生活と観光のいずれの視点からも、高田駅西口の開設を是非実現すべきである。市長はどのように考えるか。</p> <p>(2) 高田地区中心市街地活性化基本計画では、本町は活性化しなかった。当初の基本方針として掲げた「2核1モール」を超える次の手を打つべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 後継者の不在、利用客の高齢化など、朝市はもはや風前の灯である。市長は、どのように朝市を存続させていくつもりか。</p> <p>(4) 高田地区の包括的な景観整備について、市長の考えを聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>14</b></p> <p style="text-align: center;"><b>24 番 上 松 和 子</b></p>	<p><b>1. がん予防の推進について</b></p> <p>(1) 当市の胃がんによる死亡者数の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 健康診査の胃がん検診に、ピロリ菌検査を導入する考えはないか。</p> <p><b>2. 食品ロス削減の取組について</b></p> <p>(1) 食品ロスの削減については農林水産省、消費者庁、環境省等が力を入れて取り組んでいる。市民としても食品ロスの削減に向けて取り組むことが必要であるが、その1つとして宴会等での食べ残しを減らす取組は重要と考える。「食べ切りタイム」を設定することは食べ残しの削減に大きな効果がある。市として普及に取り組む考えはないか、再度聞きたい。</p> <p><b>3. 認知症サポーターの養成・普及について</b></p> <p>(1) 当市における認知症サポーターの人数、サポーター養成講座の実施状況を聞きたい。また、市内小中学校におけるサポーター養成講座の実施状況はどうか。</p> <p>(2) 超高齢社会の中、安心して暮らせるまちづくりのため、認知症サポーターの一層の増加・普及が必要だと考えるが、今後の取組を聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
15	<p>1. 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 2 月に頸城区の南川小学校付近で交通事故が発生し、見守りボランティアが重傷を負った。地域では、以前から信号機設置の要望をしていたところであり、大変遺憾である。通学路の安全対策はどうなっているのか。また、信号機の設置に向けた警察署への働きかけと設置見通しはどうなっているのか。</p>
11 番 大 島 洋 一	
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
16	<p>1. 「自然・自治・共生」の視点からの上越市の地平と課題について</p> <p>(1) 上越市 45 年の歩みを振り返り、人類の普遍的価値としての主要理念である環境保護、市民主権、人権尊重、非核平和について、その具現化の地平を総括的に明らかにされたい。</p> <p>(2) それぞれの制度・政策展開について改善すべき課題があるか。あるとすればどのような点が明らかにされたい。</p> <p>2. 市長のあるべき姿について</p> <p>(1) 「権力は腐敗する」、「政府は嘘をつくもの」との格言についてどう思うか、自らの立場に引き付けて明らかにされたい。</p> <p>(2) 以下の点についてどう考えるか、その思いを明らかにされたい。</p> <p>ア 経営感覚のリーダーシップを持つこと。</p> <p>イ 市民に寄り添い市民の声に耳を傾けること。</p> <p>ウ 普遍的価値の擁護に敏感であること。</p> <p>エ 歴史の前に謙虚であること。</p> <p>オ 高潔な倫理観を持つこと。</p> <p>(3) これまでの姿勢に反省点はないか、また改めて今後の姿勢についての決意を明らかにされたい。</p>
30 番 石 平 春 彦	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	
31 番 本 城 文 夫	<p><b>1. 今後の市政運営と財政健全化について</b></p> <p>(1) 第 5 次行政改革の進捗状況と、公の施設の再配置の今後の見通しはどうか。</p> <p>(2) 第 2 次財政計画では、インフラなどの基幹的整備事業を計画しているが、景気変動リスクなどに伴う財源確保を懸念している。今後の健全財政に支障は生じないのか。</p> <p>(3) 第 6 次総合計画を進めるに当たり、多様な地域の個性をどのように活用し、計画を推進していくのか。</p> <p><b>2. 上越市都市計画マスタープランの推進について</b></p> <p>(1) 市街地の活性化、まちなか再生に向けて高田周辺地域の活力づくりをどのように支援し、継続するのか。</p> <p>(2) 日本一の雁木のまちづくりを推進するための景観モデル地区づくりと支援拡大に向けた具体的な考えはあるのか。</p> <p><b>3. ガス水道事業等の今後の経営見通しについて</b></p> <p>(1) 第 2 次ガス・水道事業中期経営計画における施設や管路の更新に向け、約 230 億円に上る企業債残高の償還が及ばず後年度財政への懸念も含め、今後の財源見通しをどのように考えているか。</p> <p>(2) ガス事業の民間活力導入の検討と大口需要家の獲得の戦略は、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 下水道事業特別会計等の公営企業会計制度への移行について、現在の進捗状況はどうか。</p> <p><b>4. 二元代表制による市政の活性化について</b></p> <p>(1) 市長と市議会の連携は重要だ。市の政策づくりに当たり、市民の意向が反映される市政運営が重要と思うが、二元代表制に対する市長の思いを聞きたい。</p> <p>(2) 議会からの政策提言や、議会報告会・市民との意見交換会など当市の議会改革の取組をどのように評価しているか。</p>